

一般廃棄物積替保管施設に関する協定書（案）

中央広域環境施設組合（以下「甲」という。）と〇〇〇（以下「乙」という。）の間において、甲が阿波市吉野町西条字藤原及び同市土成町宮川内字古田の境に設置する一般廃棄物積替保管施設（以下「施設」という。）に関し、次のとおり協定を締結する。

（基本事項）

第1条 甲は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律並びに公害関係諸法令を遵守し、施設周辺住民の健康を保護するとともに生活環境の保全を図り、施設の管理運営に万全の措置を講ずるものとする。

（稼働期間等）

第2条 施設の稼働期間については、令和10年3月31日までとする。

2 廃棄物の搬入日は、月曜日から土曜日までの週6日間（祝祭日も搬入する。）とし、1月1日から1月3日までは基本的にごみの受け入れをしないものとする。

3 搬入時間は、原則午前8時30分より午後4時30分までとする。

（対象廃棄物）

第3条 施設で積み替え及び保管する廃棄物は、甲の構成市町における行政区域内で排出される一般廃棄物のうち「可燃ごみ」とする。

（令和7年8月以降のごみ処理）

第4条 令和7年8月以降は、サーモセレクト方式でのごみの焼却処理は行わない。

2 令和7年7月末日までに焼却処理できないごみは、適正な処理方法により施設外に搬出して処理を行う。

（排水処理）

第5条 施設から発生するごみ処理に伴う排水については、無放流とし施設内で循環利用を行い、処理できない排水に関しては、外部処理を行う等、適切に処理を行うものとする。ただし、敷地内に降った雨水及び生活排水については、放流基準を遵守し放流するものとする。

（周辺の交通安全）

第6条 甲は、施設への車両の出入りに伴う交通安全に最大の注意を払うとともに、施設周辺住民の交通を妨げないものとする。

2 甲は、施設へ出入りする車両の通行に関し、別紙1のとおり搬入・搬出ルートを定める。

（環境調査等）

第7条 甲は、施設及び周辺地域の環境調査（臭気・地下水質及びその他甲、乙が協議の上必要と定めるもの）を定期的実施するものとし、甲のホームページ等において公表するものとする。

2 施設及び周辺地域の環境調査の調査項目及び回数は、次のとおりとする。

（1）地下水質調査（年2回以上）

(2) 騒音・振動調査（年 1 回以上）

(3) 臭気調査（年 2 回以上）

3 甲は、前項第 2 号及び第 3 号の環境調査の調査項目について施設基準値を設け、適切な処理が行えるよう管理運営を行うものとする。施設基準値は、別紙 2 のとおりとする。

（公害防止）

第 8 条 甲は、施設の運営にあたり公害関係諸法令に定める基準を遵守し、周辺地域の生活環境や農作物等に影響を及ぼさないようにするものとする。

2 甲は、前項に定める基準を超え、又は超える恐れがある場合は直ちに施設の運転を停止するとともに、点検修理等を行い、安全が確認された後でなければ運転を再開しないものとする。

3 甲は、施設運営に起因する公害等により施設周辺住民に被害（人体・農作物等の被害）が認められた場合、次の措置を講ずるものとする。

(1) 直ちにその排除に努める等適切な措置を講ずる。

(2) 施設周辺住民に対する被害（人体・農作物等の被害）については、甲の責任において誠意をもって相当の補償を行うものとする。

4 甲は、施設周辺住民に対し公害防止対策について、積極的な情報提供に努めるものとする。

（公害防止審査委員会）

第 9 条 甲は、公害の防止に関する事項を調査・審議させるため、施設周辺住民代表者を含む公害防止審査委員会を設置するものとする。

2 甲は、前項の公害防止審査委員会で協議した内容について年 1 回、施設周辺住民を対象に環境調査結果説明会を開催するものとする。

（周辺対策事業）

第 10 条 甲は、阿波市が実施する周辺対策事業に協力するものとする。

（定めのない事項）

第 11 条 前条までに定めのない事項については、法令に定めるところによるものとし、その他事項については甲、乙協議するものとする。

本協定締結の証としてこの協定書 2 通を作成し、甲、乙それぞれ 1 通を保有する。

令和 年 月 日

甲 徳島県阿波市吉野町西条字藤原 7 0 番地 1
中央広域環境施設組合
管理者 町田 寿人

乙 徳島県阿波市
〇〇〇〇 〇〇〇〇

中央広域環境センター搬入出図

別紙 1

搬入出路

中央広域環境センター

【施設基準値】

次に掲げる基準値を遵守すること。なお、この施設基準値を準用する法が改正された場合は、改正に対応した基準とすること。

(1) 騒音基準値

敷地境界線において、定格運転時に次の基準値以下とすること。

昼間（８：００～１８：００） ５５デシベル

(2) 振動基準値

敷地境界線において、定格運転時に次の基準値以下とすること。

昼間（８：００～１８：００） ６０デシベル

(3) 悪臭基準値

敷地境界線上において、以下の基準を遵守すること。

① アンモニア	1 ppm
② メチルメルカプタン	0.002 ppm
③ 硫化水素	0.02 ppm
④ 硫化メチル	0.01 ppm
⑤ 二硫化メチル	0.009 ppm
⑥ トリメチルアミン	0.005 ppm
⑦ アセトアルデヒド	0.05 ppm
⑧ プロピオンアルデヒド	0.05 ppm
⑨ ノルマルブチルアルデヒド	0.009 ppm
⑩ イソブチルアルデヒド	0.02 ppm
⑪ ノルマルバレルアルデヒド	0.009 ppm
⑫ イソバレルアルデヒド	0.003 ppm
⑬ イソブタノール	0.9 ppm
⑭ 酢酸エチル	3 ppm
⑮ メチルイソブチルケトン	1 ppm
⑯ トルエン	10 ppm
⑰ スチレン	0.4 ppm
⑱ キシレン	1 ppm
⑲ プロピオン酸	0.03 ppm
⑳ ノルマル酪酸	0.001 ppm
㉑ ノルマル吉草酸	0.0009 ppm
㉒ イソ吉草酸	0.001 ppm